

日本パブリックリレーションズ協会会員誌

PRsj

PUBLIC RELATIONS
SOCIETY OF JAPAN

NEWS

2020 年 1 月号
NO. 314

TOPICS

2020 年、協会をさらに成長させる年。

(公社)日本パブリックリレーションズ協会 理事 多羅尾 智子

MESSAGE P3

PRアワードグランプリ 2019 特集

REPORT P4

How to PRSJ 企業業部会【前編】

REPORT P9

日本PR大賞が決定！！

ATTENTION P11

「新春PRフォーラム・賀詞交歓会」開催

ATTENTION P12

「PRアワード受賞事例公開セミナー」を 2 月 13 日開催

ATTENTION P13

広報・PRスキルアップ実践講座 第 7 回「広報効果測定」開催

ATTENTION P14

PRプランナー資格認定制度検定試験 1 次試験受付中

ATTENTION P15

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6 丁目 2 番 31 号 六本木ヒルズノースタワー5F

電話 (03) 5413-6760 ファックス (03) 5413-2147

URL <https://www.prsj.or.jp/>

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島 2-1-27 桜橋千代田ビル 3F
電話 (06) 6344-3002 ファックス (06) 6344-3005

発行人: 畔柳 一典

1月号 目次

1月～2月のスケジュール	—	1
MESSAGE(メッセージ)	2020年、協会をさらに成長させる年。	— 3
REPORT(特集)	PRアワードグランプリ 2019 特集	— 4
〃	How to PRSJ 企業業部会【前編】	— 9
ATTENTION(お知らせ)	日本PR大賞が決定！！	— 11
〃	新春PRフォーラム・賀詞交歓会1月22日に開催！！	— 12
〃	「PRアワード受賞事例公開セミナー」を2月13日開催	— 13
〃	広報・PRスキルアップ実践講座 第7回「広報効果測定」	— 14
〃	第26回「PRプランナー資格認定検定試験」1次試験申込受付中！	— 15
BULLETIN(活動報告)	第33回広報ゼミ(11月27日) 開催報告(会員限定)	— 16
〃	第45回「PRスキル研究会」(12月9日)開催報告(会員限定)	— 16
REPORT(講演レポート)	第204回定例研究会(会員限定)	— 17
協会掲載記事	PRSJ in Media	— 18

1月～2月スケジュール

新春PRフォーラム・賀詞交歓会	日 時 : 1 月 22 日(水) 16:00～20:00 会 場 : 国際文化会館「岩崎小彌太記念ホール」「樺山・松本ルーム」
広報・PR実務講座 2019 広報・PRスキルアップ実践講座 第 6 回「戦略的企業文化の醸成」	日 時 : 1 月 23 日(木) 19:00～21:00 会 場 : 六本木アカデミーヒルズ 49 講 師 : (株)ソフィア フィールドリサーチ&コンサルティング事業責任者 森口 静香氏 テーマ : すべての社員に企業理念とビジョンを浸透させて、自発的な貢献意欲を 促すために～社員のエンゲージメントを高める効果的なコミュニケーション 手法、施策とは～
PRプランナー資格認定制度 第 25 回 3 次検定試験	日 時 : 1 月 25 日(土) 12:00～16:00 会 場 : 富士通ラーニングメディア 品川ラーニングセンター
PRプランナー1次試験対策講座(冬期)	日 時 : 1 月 29 日(水)、2 月 4 日(火)、12 日(水)、19(水) いずれも 19:00～21:30 会 場 : 六本木アカデミーヒルズ 49
第 34 回広報ゼミ	日 時 : 2 月 12 日(水) 16:00～ 会 場 : 西武ホールディングス新本社ビル「ダイヤゲート池袋」 講 師 : (株)朝日新聞社 働き方改革実行委員会事務局長 空田陽史氏 日本マイクロソフト(株)業務執行役員コーポレートコミュニケーション本部 本部長 岡部一志氏 テーマ : (株)NTTデータ 広報部 課長 星野真一氏 「働き方改革」～メディアサイド・企業サイドでどう変わる?～
PRアワード受賞事例公開セミナー	日 時 : 2 月 13 日(水) 18:30～21:00 会 場 : 富士ソフトアキバプラザ
第 205 回定例研究会	日 時 : 2 月 19 日(水) 12:00～14:00 会 場 : 六本木アカデミーヒルズ 49 講 師 : Twitter Japan(株) CPG 業界担当 シニアクライアントパートナー 青山康成氏 テーマ : Twitter の最新の動向と企業による多彩な活用事例 ～成果の上がる Twitter 活用法を探る～
広報・PR実務講座 2019 広報PRスキルアップ実践講座 第 7 回「広報効果測定」	日 時 : 2 月 20 日(木) 19:00～21:00 会 場 : 六本木アカデミーヒルズ 49 講 師 : (株)オズマピーアル ビジネス開発本部 コミュニケーションデザイン部 エキスパート 登坂 泰斗氏 (株)オズマピーアル ビジネス開発本部 コミュニケーションデザイン部 コミュニケーションディレクター 猿田 一揮氏 テーマ : マーケティング施策と連動してとらえる広報効果測定の考え方と具体的 な方法～事例から示す無償ツールの活用、SNS波及とその効果の測定 ～

1月～2月の理事会・委員会・部会スケジュール

定例理事会	(1 月度)	日 時	: 1 月 9 日 (木)	16:00～17:30
			一般財団法人 産業人材研修センター 霞会館	
	(2 月度)	日 時	: 2 月 13 日 (木)	16:00～17:30
		会 場	: 一般財団法人 産業人材研修センター 霞会館	
教育委員会	(1 月度)	日 時	: 1 月 16 日 (木)	17:00～18:30
		会 場	: 協会会議室	
資格委員会	(1 月度)	日 時	: 1 月 23 日 (木)	12:00～13:30
		会 場	: 協会会議室	
国際・交流委員会	(1 月度)	日 時	: 1 月 24 日 (金)	16:30～18:00
		会 場	: 協会会議室	
広報委員会	(1 月度)	日 時	: 1 月 23 日 (木)	16:00～17:30
		会 場	: 協会会議室	
顕彰委員会	(1 月度)	日 時	: 1 月 15 日 (水)	16:00～17:30
		会 場	: 協会会議室	
企業部会幹事会	(1 月度)	日 時	: 1 月 8 日 (水)	17:00～18:30
		会 場	: 協会会議室	
PR業部会幹事会	(1 月度)	日 時	: 1 月 21 日 (火)	16:00～17:30
		会 場	: 協会会議室	

2020 年、協会をさらに成長させる年。

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
理事 多羅尾 智子

今年、PRSJ は創立 40 周年を迎える。

今、協会は 9 月に予定されている記念のイベントを意味あるものにし、会員のみならず広く社会に向けて協会のプレゼンスを発揮させるいい機会と捉えて計画が進行中だ。

この 40 年間、協会を取り巻く環境は大きく変わっている。PR プランナー資格検定試験の 3 次試験受験者も増え続け、PR というものが単に広報担当者のためのものではなく、ビジネスを進行させるうえにおいて欠かせないスキルであり、マインドであることの認識も徐々に広まってきているように思う。

私も 20 年以上協会と関わってきたが、入会当時は「旦那衆の懇親の場」のような雰囲気が漂っていたような気がしたが、次第に「PR に携わる者同士切磋琢磨し、情報交換ができる場」になるよう、大きく変化してきたように感じる。

それを最初に具体的に感じたのは、昔ながらのスタイルが決まっていることにあまり魅力が感じられずにいた「PR 手帳」を、理事就任と同時に発行責任者として深く関わらなくてはいけなくなってきた。改めて PR 手帳と向き合い、編集過程に参加させていただいて知ったのは、あの「不変」のように見える PR 手帳が実は情報がふるいにかけられ、チェックされ、さらには巻頭に取り上げる「今」を読み解く keyword に掲載する用語選定、とその執筆者探しではかなりドラチックに議論が重ねられ、いわば「産みの苦しみ」を経て出来上がっていくことである。

そういう視点で見回せば、PR プランナー資格検定試験の内容も常にブラッシュアップされ続けているし、公式テキストである「広報・PR 概説」と「広報・PR 実践」は、版を重ねる中で受験するしないに関わらず、広報を学ぶ人の普遍的なテキストに成長している。また、21 世紀に入ってから最も変化の著しいメディアから講師をお招きする定例研究会でも、人材の選定と交渉に毎回工夫と苦労を重ねている。

これらは協会活動のほんの一例にすぎず、様々な場面で理事をはじめとして、委員会、部会の場で会員がボランティアで活動し、積み重ねてきた結果なのである。

あえて誤解を恐れずに書くが、PRSJ に属し活動していても、何かの利権にありついたり、さ末ではあるが PR プランナーの資格をいただけたりは、一切ない。反対に新たな悩みを抱え、さらに時間に追われるのである。今現在は 40 周年事業に関わっている特別委員会のメンバーは大変なご苦勞をされていることだと思う。

協会がそういう会員の皆さんにお応えし、「PR に携わる者同士切磋琢磨し、情報交換ができる場」としてさらに成長するためにも、創立 40 周年を大いに成功させたい。と同時に意味あるイベントであってもそれは片方の車輪に過ぎず、日々の地味で目立たない、いわばアップデートを重ねる活動がもう片輪、2020 年は両方の回転を上げて協会をさらに成長させる年。そんな 1 年にしたいものである。

「PRアワードグランプリ 2019」表彰式・プレゼンテーション

2019年12月10日（火）17時から、「PRアワードグランプリ2019」の表彰式及び受賞者プレゼンテーションが、東銀座の時事通信ホールで開催されました。

当日は、畔柳理事長のご挨拶、井口審査委員長からの総評について、グランプリ、ゴールド、シルバーの各受賞エントリーの代表者から、企画の意図や実現に至るプロセス、成果まで、受賞事例の全体像が把握できるプレゼンテーションを実施していただきました。関係者を含む194人の参加者は熱心に聞き入っていました。



プレゼンテーションに引き続き、畔柳理事長から各賞の表彰として、ブロンズ受賞者から順番にトロフィーと賞状が渡されていきました。先ほどのプレゼンテーションのときの緊張感から一転して会場全体が笑顔と拍手に包まれました。



また、ブロンズ表彰に続いて、この日プレゼンテーションを行った上位7組のエントリーの中から、評論家で公益社団財団大宅壮一文庫の理事長である大宅映子氏による特別賞が、講評とともに発表されました。受賞したのは、シルバーを受賞した、「不倫・BL・ひきこもり…“複雑すぎる”ペンギン相関図」。エントリー会社の電通には副賞として大宅壮一文庫 Web OYA-bunko「雑誌記事索引検索 Web 版」6か月分の利用権が渡されました。

「PRアワードグランプリ 2019」の受賞エントリーの内容は、2020年2月に開催予定の「PRアワードグランプリ受賞事例公開セミナー」や5月に発刊予定のPR Yearbook 2020、協会のアワードウェブなどで各受賞エントリーの内容など紹介していく予定です。

☆井口 理・審査委員長の講評コメント



今年の PR アワードグランプリは「未来を見据えた」審査を行いました。「現状の完成度」も大切ですが、審査員の方々には「将来的な拡張性」を見いだしていただくことに注力いただきました。前者が「既存の手法にアイデアを盛り込み、やりきったもの」とすれば、後者は「新たなチャレンジ姿勢に富んだもの」と言えます。上位に選出された案件は、それぞれ戦略的なステークホルダー設定がなされ、「ここを押すことでこっちが動く」といったこれまで考えなかった作用が生み出されていました。またその取り組みを継続することによって、さらに大きな成果を生み出しそうだと感じさせるものでもあったと思います。

グランプリとなった大阪府住宅供給公社は、日本の少子化、高齢化という継続的な社会課題の中で、衰退していく団地の存続というテーマに取り組んだものです。その中でマルチステークホルダーを見据えつつ、住民自体をインターナル活動に巻き込み、活性化していくという新たな仕組みを作り上げました。

団地の規制などを取り払い、これまでにないアイデアにチャレンジしたこと、また今後はさらに周辺エリアを巻き込み展開していくという継続性・発展性も見られました。これは同じ悩みを抱える同様の地域へのモデルケースとなりうる事例と言えます。

これらエントリーに見いだされたエッセンスは、今後の PR 領域をさらに拡大してくれるヒントとなることでしょう。

☆受賞者コメント

グランプリ：受賞エントリー（1 エントリー）

- 作品名：「住民との共創」で、衰退していた団地の未来を変えていく。「茶山台団地」再生プロジェクト
- エントリー会社：大阪府住宅供給公社／(株)オズマピーアール
- コメント：グランプリを授かり大変光栄に思います。この取り組みが1つの参考事例となり、全国に広まれば幸いです。



ゴールド：受賞エントリー（2 エントリー、エントリー登録順）

- 作品名：埼玉西武ライオンズ×英国オックスフォード大学
「SAVE LIONS(セーブライオンズ) ～消えゆく野生のライオンを救うプロジェクト～」
- エントリー会社：(株) 電通／(株)電通パブリックリレーションズ
- コメント：球団創設 100 周年を、ライオンたちと迎えられるように。これからもプロジェクトを成長させていきます！



- 作品名：パンテーン「#この髪どうしてダメですか」
- エントリー会社：(株)マテリアル
- コメント：本プロジェクトを通じて、“PR”が持つ可能性を再認識できました。今回の学びを活かし、今後もチャレンジし続けたいと思います。



シルバー受賞エントリー（4 エントリー、エントリー登録順）

- 作品名：最新の AI テクノロジーを活用、親子が楽しく食や栄養について学べるアプリを通じた食育活動
- エントリー会社：大塚製薬(株)
- コメント：食育アプリ SketchCook を大塚製薬ならではの方法で更に多くの家庭に届け、親子で食や栄養について考えるきっかけを作っていきたいと思います。

- 作品名：不倫・BL・ひきこもり…“複雑すぎる”ペンギン相関図
- エントリー会社：(株)電通
- コメント：評価いただけて嬉しいです。さらに多様性とややこしさが増した最新版「ペンギン相関図 2020」もぜひご覧ください！

- 作品名：社会人のための飲み会平和化プロジェクト「チーム“ビール”ディング」
- エントリー会社：(株)電通／(株)電通パブリックリレーションズ／(株)電通デジタル
- コメント：ありがとうございました。
これからも、時代が求める新しいビール文化を提案していければと思います。

- 作品名：資生堂 AgDE024(エージーデオ 24):
「ストレス臭」でコモディティ化した制汗剤市場を新規開拓!
- エントリー会社：(株)電通／(株)電通パブリックリレーションズ
- コメント：「ストレス臭」を広める取り組みに携われたこと、そして賞を頂けたことを光栄に思います。ありがとうございました。

ブロンズ受賞エントリー（8 エントリー、エントリー登録順）

- 作品名：Yahoo!防災ダイバーシティ
- エントリー会社：(株)電通
- コメント：このたびは、素晴らしい賞を賜り、感謝しております。
これからも、多くの日本人が防災を考え、
日本が“防災先進国”になればと願っております。

- 作品名：20 年をつづる母子健康手帳 国内外への展開
- エントリー会社：(一社)親子健康手帳普及協会
- コメント：無名の社団の入賞を大変光栄に思っております。引き続き社会の声にこたえた活動をしてまいります。

- 作品名：洗っても蘇るイヤなニオイ「ゾンビ臭」をやっつけろ!「トップ クリアリキッド抗菌」
- エントリー会社：(株)電通／(株)電通パブリックリレーションズ
- コメント：このような賞を頂けたことを大変嬉しく光栄に思います。ありがとうございました！
これからもゾンビ臭に悩む全ての方を応援してまいります。

- 作品名：若年層ファン化/社会問題の喚起へとつなげる、B2B 企業の挑戦「LOVE 米プロジェクト」
- エントリー会社：(株)電通／(株)電通パブリックリレーションズ
- コメント：デジタルコミュニケーションによって、クボタさんと生活者の接点を創出でき、PR の新たな可能性を感じました。

- **作品名**：モバイルキャリアが現代ティーンに投げかけたコンテンツ PR キャンペーン
「パラレルスクール DAYS」
- **エントリー会社**：(株)博報堂ケトル
- **コメント**：『パラレルスクール DAYS』はコンテンツのテーマが、PR として機能した新たな試みでした。関係者の皆さま、受賞おめでとうございます。

- **作品名**：たべることば
- **エントリー会社**：(株)電通
- **コメント**：名誉ある賞にご選出頂き有難うございます。「たべることば」の絵本の中にある通り、この世界がおいしい言葉でいっぱいになることを願っております。

- **作品名**：くら寿司「天然魚プロジェクト」の挑戦
～サステナブルな漁業のビジネスシステム構築を目指して～
- **エントリー会社**：(株)電通パブリックリレーションズ／(株)アド電通大阪
- **コメント**：くら寿司さん含め、チームで長年支えてきたプロジェクトが高い評価をいただき、非常にうれしく思います。

- **作品名**：PARA PINGPONG TABLE
- **エントリー会社**：(株)TBWA HAKUHODO
- **コメント**：この卓球台をきっかけに、パラ卓球の魅力を知っていただき、2020 の大舞台で活躍する選手をみんなで応援できたらいいなと思っています。



「PRアワード受賞事例公開セミナー」を2月13日開催

協会では、来る2月13日、『PRアワードグランプリ 2019』で受賞した優秀なPR事例を公開する「PRアワード受賞事例公開セミナー」を、東京・秋葉原の「富士ソフト アキバプラザ」で開催いたします。詳細はP13をご覧ください。

■特集：How to PRSJ 企業業部会【前編】

「突然、広報をやれと言われた！」

そんな人にこそ PRSJ の活動に参加してほしい。

<出席者>

(株)東急ホテルズ セールス&マーケティング部
天野槇子さん

京王電鉄(株) 広報部 長谷川和憲さん

(株)エレクトロニック・ライブラリー カスタマー
サポート部 竹内香織さん

発言順

<実施日>

2019 年 11 月 6 日 (水)



天野さん(左)、長谷川さん(中央)、竹内さん(右)

昨年好評だった How to PRSJ P R 業部会編につづき 今回は第 2 弾として『How to PRSJ 企業部会編』を今月号と来月号、前編後編に分けて掲載いたします。企業広報の立場から PRSJ に参加する魅力や意義、活用法などを語り合ってもらいました。

司会：まず簡単に自己紹介をお願いします。

天野：東急ホテルズの天野と申します。本社セールス&マーケティング部で、商品広報の担当をしています。現在、各ホテルの広報・PR 業務のスキル向上の取り組みをしており、その一環で PR プランナーの資格取得を各ホテルの広報担当者に勧めています。PRSJ に入会したのは 2019 年 7 月です。会員になると受験料が安くなるので入会しました。(一同笑)

長谷川：京王電鉄の長谷川です。去年の 6 月に広報部長として広報部に来まして、前任の部長から「引き継ぎに連れて行くから」って連れてこられたのが、毎月第一水曜の企業部会幹事会です。仕事はパブ、社内報、環境関係に一部鉄道と分担しているんですが、宣伝広告もやっていて、広告宣伝、環境からマスコミ対応まで、他の会社の広報さんとは違うこともやっているかなと思います。

竹内：エレクトロニック・ライブラリーの竹内と申します。新聞記事のクリッピング配信会社です。社として PRSJ に入ったのは 2008 年からで、2014 年頃から企業部会の幹事会メンバーになっています。私はこの 4 月から参加をしたんですが、私みたいな新参者も本当にあたたかく迎えていただきました。半年経った今ではみなさまの話を聞いて、最新の広報トレンドを吸収しようと毎月楽しみに幹事会に参加しています。部署はカスタマーサポート部です。広報セクションではないため、マーケティングをしながら広報業務をしています。最近では、自社が記事を採録している新聞原紙を一堂に集めた「108 紙ギャラリー」の P R を通じて新聞の良さを広報しています。

【トップと語る、未来につながっていく仕事が広報の面白さ】

司会：みなさんの広報歴はどのくらいですか？

天野：広報を始めて 2019 年 12 月で丸 4 年です。それまではプロパティでフロントやレストランで接客をしていました。

司会：広報の仕事をまず始めたときに、困ったこと、難しいと思ったことってどんなことですか？

天野：いちばん初めに難しいと感じたのはプレスリリースの作成です。上司のアドバイスはもちろんですが、プレスリリースの書き方の本を読んで勉強しました。またマスコミ対応も苦手意識が強く、自信をもって対応できるまでに時間がかかりました。

司会：広報ならではの、おもしろいと思っていることってありますか？

天野：弊社はここ数年新規開業が続き、開業の数年前からプロジェクトに関わります。出店エリアの特性を考えながら戦略を考え、どの店舗もやりがいを持って取り組んでいます。商品広報に比べ、新規開業業務は「未来につながっていく」と感じる事が多く、そこが面白いです。

長谷川：私は 92 年入社で 27 年目なんですけど、広報はの中で去年の 6 月からの 1 年 4 ヶ月くらいです。開発事業部門畑を歩いてきて、いきなり広報って言われたとき、「なんで自分が広報なんだろう」とちょっとびっくりしました。広報に来てみて苦労したのは、用語がまずわからない。お恥ずかしながら「PR ってプロモーションじゃないんだ」という（笑）。改めて「こちらからだけでなく、世間とうちの会社をつないでいるんだ広報は」って、そんなところから、第一歩からですね。逆に、トップから会社の未来だとかこういうことを目指しているとか、日頃から議論の端々を聞いたり自分でも話したりというのは今までなかった経験なので、そこは新鮮でした。



竹内：しばらく広報業務のブランクを経て PRSJ の活動に参加したのですが、企業部会でみなさんが話している言葉の端々から、広報業務の奥深さをあらためて感じます。また、営業等とは違って、広報には他業種とコミュニケーションを図れるおもしろさもありますね。全然業態が違っていても、「こういうときに、こういうことがあった、ああだった」という話を垣根なく情報交換して、切磋琢磨されているのを、「そうか、そういう世界なんだな」と。7 月に本社が京橋に移転するにあたって、駅に電飾看板を設置することになり、インターナルコミュニケーションの一環として看板デザインを社内コンペで決めたのですが、コンペの意図を社内に浸透させるのに苦労しました。売れるのか売れないのかという視点で社員は考えるので、広報活動の必要性を伝える難しさは、小さな企業だからかもしれないですけど、あるのかなと思っています。

- - - - - 来月号に続きます - - - - -

日本PR大賞が決定！！

「パーソン・オブ・ザ・イヤー」ジェイミー・ジョセフ氏（ラグビー日本代表ヘッドコーチ）
「シチズン・オブ・ザ・イヤー」一般社団法人「注文をまちがえる料理店」

2019年度日本PR大賞「パーソン・オブ・ザ・イヤー」「シチズン・オブ・ザ・イヤー」の受賞者が、外部有識者および会員の皆様方に投票していただいた結果を基に、顕彰委員会での最終審議を経て決定いたしました。日本PR大賞「パーソン・オブ・ザ・イヤー」にラグビー日本代表ヘッドコーチのジェイミー・ジョセフ氏を、日本PR大賞「シチズン・オブ・ザ・イヤー」に一般社団法人「注文をまちがえる料理店」をそれぞれ選出、表彰いたします。

日本PR大賞は、「パーソン・オブ・ザ・イヤー」として広報・PRの視点から今年もっとも活躍した人を、また「シチズン・オブ・ザ・イヤー」として、地道で独創的な広報・PR活動を通じて地域社会の発展に貢献した個人または組織を、それぞれ表彰するものです。1998年に日本PR大賞として創設して以来、年1回の表彰を行っています。

なお、本年度の日本PR大賞「パーソン・オブ・ザ・イヤー」「シチズン・オブ・ザ・イヤー」両賞の選考・授賞理由については下記のとおりです。

【日本PR大賞「パーソン・オブ・ザ・イヤー」】

受賞者：ジェイミー・ジョセフ氏（ラグビー日本代表ヘッドコーチ）

受賞理由：ジェイミー・ジョセフ氏は、ラグビー日本代表ヘッドコーチとして、ラグビーワールドカップ2019日本大会において日本代表を初のベスト8に導くなど、指導者として見事な手腕を発揮した。また“ONE TEAM”のスローガンの下、多様性を重んじるラグビー精神を多くの日本人に理解させ、新しいラグビーファンの獲得とラグビーブーム復活に大きく貢献。ヘッドコーチとしての一連の活動は、広報・PRの観点からも多大な功績が認められ、日本PR大賞「パーソン・オブ・ザ・イヤー」に選出された。



【日本PR大賞「シチズン・オブ・ザ・イヤー」】

受賞者：一般社団法人「注文をまちがえる料理店」

受賞理由：注文を取るスタッフがみんな認知症の「注文をまちがえる料理店」はPR、外食、

認知症介護など各分野のプロフェッショナルが集まり、プロジェクト化されたレストラン型イベント。世界中に共感の輪が広がり各地でイベントが開催されている。

たとえ間違えても『ま、いいか』と思えるような寛容さを社会が持つことの重要性を多くの人に気づかせ、また、認知症の方やそのサポーターに対しては、働くことの喜びを与え続けている。プロジェクトを継続的な活動とすべく社団法人化され、多様なパートナーとのコラボレーションにより活動の場を広げている。



なお、同賞の授賞・表彰式は新年1月22日、六本木・国際文化会館で開催される「新春PRフォーラム」（主催：日本パブリックリレーションズ協会）において行います。（p12 参照）

「新春PRフォーラム・賀詞交歓会」 1月22日に開催！！

すでにご案内のとおり、新年1月22日（水）に「新春PRフォーラム・賀詞交歓会」を国際文化会館で開催いたします。

今年も新春PRフォーラムでは日本PR大賞「パーソン・オブ・ザ・イヤー」「シチズン・オブ・ザ・イヤー」の表彰式を行います。

2019年度「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」はジェイミー・ジョセフ氏（ラグビー日本代表ヘッドコーチ）、「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」は、一般社団法人「注文をまちがえる料理店」に決定しました。

当日は両賞とも受賞者に、表彰式にご出席いただき、受賞記念のスピーチをしていただく予定です。なお、「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」ジェイミー・ジョセフ氏は離日中のため、公益財団法人日本ラグビーフットボール協会 会長 森 重隆氏が代理で表彰式にご出席となります。

続いて、特別講演として、佐藤 優氏にご講演をいただきます。講演テーマは「北東アジアの地政学的変動と日本外交」。

特別講演終了後、引き続き賀詞交歓会を開催いたします。

新年でご多忙のことと存じますが、奮ってご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

記

■開催日時：2019年1月22日（水） 16：00～（受付開始：15：30～）

■会 場：国際文化会館「岩崎小彌太記念ホール」「樺山・松本ルーム」
東京都港区六本木 5-11-16 TEL：03-3470-4611
会場地図：<http://www.i-house.or.jp/access.html>

■新春PRフォーラム（岩崎小彌太記念ホール）

□第1部 日本PR大賞表彰式（16：00～17：00）

「パーソン・オブ・ザ・イヤー」「シチズン・オブ・ザ・イヤー」の表彰
・表彰状、トロフィー授与 ・受賞記念スピーチ

□特別講演 講師：佐藤 優氏（17：00～18：15）

演題：「北東アジアの地政学的変動と日本外交」

■賀詞交歓会（ダイニングルーム）：18：30～20：00

■会費 会員社・一般（非会員） 1名 8,000円

※お申込到着後、請求書をお送りいたします。

■お申込み：下記URLから1月17日（金）までにお申込みください。

<https://prsj.or.jp/event/forum2020/>

広報・PR実務講座2019

「PRアワード受賞事例公開セミナー」を2月13日開催 ～「PRアワードグランプリ2019」からPRの未来を見据える～ 教育委員会

協会では、来る2月13日、『PRアワードグランプリ2019』を受賞したPR事例を厳選し、その成功のポイントを探る「PRアワード受賞事例公開セミナー」を、東京・秋葉原の「富士ソフト アキバプラザ」で開催いたします。

わが国のPRとともに歩み、その潮流を示す「PRアワードグランプリ」。「PRアワードグランプリ2019」では、応募された75のエントリー事例を対象として行われた審査の結果、「グランプリ」をはじめ「ゴールド」2事例、「シルバー」4事例、「ブロンズ」8事例が表彰されました。今回の「PRアワード受賞事例公開セミナー」では、このなかから「グランプリ」と「ゴールド」1エントリー、さらに「シルバー」2エントリーの4つの事例を公開いたします。

「PRアワードグランプリ2019」では、井口 理 審査委員長を中心とする審査団により、厳正な審査が行われました。審査においては、既存の手法にアイデアを盛り込みまとめ上げた「現状の完成度」に加え、新たなチャレンジ姿勢に富む「将来的な拡張性」がポイントとなったとのこと。選出されたいずれのエントリーも戦略的なステークホルダーの設定がなされ、さらに大きな成果を生み出す可能性があると評されています。本セミナーでは、今後のPRの領域をさらに拡大するヒントとして、秘められたエッセンスを十分にご紹介いただきます。

また、井口委員長をはじめ審査委員によるトークセッションを予定。審査のポイントからPRの未来を見据えます。

本セミナーの詳細及びお申込みは、以下の協会 Web サイトをご覧ください。

<https://event.prsj.or.jp/event/award-seminar2020>

■「PRアワード受賞事例公開セミナー」プログラム

時刻	内 容	登壇者
18:30	開会	
18:35	2019 年度PRアワードグランプリを振り返る	PR アワードグランプリ 2019 審査委員長 井口 理氏
18:45	＜シルバー受賞＞「社会人のための飲み会平和化プロジェクト チーム“ビール”ディング」	エントリー会社：(株)電通／(株)電通パブリックリレーションズ／(株)電通デジタル 事業主体：(株)ヤッホーブルーイング
19:10	＜シルバー受賞＞「資生堂 AgDEO24:『ストレス臭』でコモディティ化した制汗剤市場を新規開拓」	エントリー会社：(株)電通／(株)電通パブリックリレーションズ 事業主体：資生堂ジャパン (株)
19:35	＜ゴールド受賞＞「パンテーン『この髪どうしてダメですか』」	エントリー会社：(株)マテリアル 事業主体：プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン(株)
20:15	＜グランプリ受賞＞「『住民との共創』で、衰退していた団地の未来を変えていく。『茶山台団地』再生プロジェクト」 ＜ご登壇折衝中＞	エントリー会社：大阪府住宅供給公社／(株)オズマピーアール 事業主体：大阪府住宅供給公社
20:40	「審査員トークセッション」	審査委員長：井口 理氏、他 モデレーター：教育委員会 田代 順氏

(事務局 真部)

広報・PR実務講座 2019

広報・PRスキルアップ実践講座 第7回「広報効果測定」 「マーケティング施策と連動してとらえる 広報効果測定の考え方と具体的な方法」

教 育 委 員 会

協会では来る2月20日、「広報・PRスキルアップ実践講座」第7回として、広報・PR関係者の関心の高い広報効果測定をテーマに、講座「マーケティング施策と連動してとらえる広報効果測定の考え方と具体的な方法～事例から示す無償ツールの活用、SNS波及とその効果の測定～」を六本木アカデミーヒルズ49で開講いたします。

クライアントに広報・PR活動の提案をどのように説明するのか、また予算確保のため社長や役員をどう説得したらよいのか…。そのポイントは、活動による効果を具体的に示すこと。効果を定量的かつ明確に示すことが重要です。

次の問題は、広報活動の効果をどのように測定すべきか。メディア露出というアウトプット効果にとどまることなく、コミュニケーションにおいてアウトカムを計測し、SNSによる波及についても効果を測定すべしとの機運が高まりをみせています。これから広報・PRの現場をリードする関係者には、広報効果測定に関する新たな知見とスキルが重要となりました。

本講座の講師には、(株)オズマピーアールの登坂泰斗氏、猿田一揮氏をお招きし、広報効果測定をマーケティング施策全体と関連させてとらえ、それぞれの施策がどの様に相関し販売に効果を与えたのかについて考えます。

講座では具体的な事例にもとづき、Google アナリティクスやGoogleトレンドなどの無償ツールをベースとして、広報とマーケティングを連動させる基本的な効果測定の方法、さらにソーシャルリスニング・ツールを活用したSNS波及とその効果の測定方法について解説いただきます。また、効果測定の今後を展望するため、(株)オズマピーアールと東京大学大学院工学科大澤研究室が共同で進めている、統計を用いた効果検証分析の研究のポイントについても簡単にご紹介いただきます。

これからの広報効果測定に関する知見とスキルを学ぶ本講座。広報・PRの現場で活躍するみなさまの受講をお待ちいたします。

<https://prsj.or.jp/event/skillup-measurement/>

(事務局・真部)

「デジタル危機管理」講座を開講



協会では、12月12日、「広報・PRスキルアップ実践講座」第5回の「メディア記者から見る最新「炎上」トレンドと危機対応の巧拙～デジタル危機管理における準備や対策、緊急時対応のポイント～」を、六本木アカデミーヒルズ49にて開講しました。

講師は、日経BP 日経クロストrend編集 小林直樹氏。2時間の講義では、小林氏が記者として取材したさまざまな「炎上」事例が取り上げられ、その原因や対応の巧拙などが最近の傾向とともに解説されました。

会場では広報・PR関係者約30名が受講。その多くが取材活動を通じて得られた貴重な知見にうなずく姿がみられました。

PRプランナー資格認定制度／検定試験

第26回「PRプランナー資格認定検定試験」申込締切迫る
1次試験申込は1月24日(金)まで！

— 試験日は3月1日(日) —

資格委員会

第26回となるPRプランナー資格認定検定試験1次試験（試験日：2020年3月1日(日)、試験会場：東京・大阪・福岡の3会場）の受験申込期間は、1月24日（金）までとなっておりますので、皆様のまわりにPRプランナー資格の取得を目指される方がいらっしゃいましたら、本試験についてご紹介ならびにご推奨を賜れば幸いに存じます。

日本パブリックリレーションズ協会が認定する「PRプランナー資格認定制度」は、広報・PRの業務に求められる専門的な知識やスキル、職能意識等を検定し資格として認定する、公益法人としてわが国唯一の資格制度です。検定試験は1次から3次にわたり、書類審査を経て、広報・PRに関する高い専門能力の保有を認定する「PRプランナー」資格を取得することができます。本制度は2007年に発足し、すでに24回の試験を実施。難関を突破し資格を取得した2,756名（1月15日現在）のPRプランナーが、一般企業、PR会社、政府機関や自治体等で活躍しています。

＜PRプランナー資格認定制度／検定制度 1次試験 実施概要＞

試験日	2020年3月1日（日） 試験は3月1日（日）午前中に実施・終了する予定です。
受験申込期間	2019年12月1日（日）～2020年1月24日（金）
試験会場	東京・大阪・福岡の3会場
受験申込方法	受験申込から可否通知までの手順は次の通りとなります。 ①受験種別と受験料をご確認ください ②受験料をお振込みください ③画像データをご用意ください ④PRプランナー資格制度 Web サイトにアクセスします ⑤受験申込フォームに入力 入力内容：氏名、受験種別、試験会場、受験票・可否発送先住所、生年月日、メールアドレス、受験料の振込日と振込人名、等 アップロード内容：受験者ご本人の写真データ ⑤入力確認画面を経て、受験申込完了
受験票送付	2020年2月14日（金）発送
可否通知送付	2020年3月13日（金）発送 ・受験申込書にご記入いただいたご住所に、可否通知を発送いたします。 ・合格された方には、2次試験ならびにPRプランナー補認定申請のご案内を、メールでも3月16日（月）にお送りします。

※資格検定試験の詳細は、下記URLのPRプランナー資格制度 Web サイトをご覧ください。



<https://pr-shikaku.prsj.or.jp/>

会 員 限 定**第 33 回広報ゼミ(11 月 27 日) 開催報告****「情報漏洩時の広報対応～事例をもとに共に考える～」****企 業 部 会**

企業部会ではPR担当が事例を紹介し、情報交換を行う少人数の勉強会「広報ゼミ」を年3～4回開催しています。2019年11月27日(水)には、東京・京橋のELNETセミナールームにおいて、危機管理広報の中でも特に「情報漏洩時の広報対応」にフォーカスして開催しました。

社会や個人の「目」が厳しくなり、危機管理広報の重要性がますます高まる中、個人情報などの情報漏洩については、2018年5月にEUでGDPR(一般データ保護規則)が適用開始されるなど、社会の関心は衰えていません。事前の備えはもちろんのこと、実際に起きた危機にどのように対応したか、具体的な事例を広報担当者としてはぜひ知りたいところです。そのような背景もあり、今回のゼミは定員の30名を大きく超えるお申込みがありました。

第 45 回「PRスキル研究会」**グローバル企業の事例から学ぶ****「中長期的なPR戦略」の描き方****P R 業 部 会**

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会(PRSJ)では、PR業に携わる方の広報PR業務ならびにコミュニケーション領域のスキル向上を目的とし、「PRスキル研究会」を年に3～4回程度開催。無料(要予約)にて参加できるうえ、研修・意見交換の場としても活用できると毎回好評を博しています。

第45回「PRスキル研究会」は、“グローバル企業の事例から学ぶ「中長期的なPR戦略」の描き方”をテーマに、アマゾンジャパン(合)パブリック・リレーションズ本部長 金子みどり氏を講師にお迎えして、株式会社オズマピーアール(東京都千代田区紀尾井町3-23)で2019年12月9日(月)に開催されました。当日の参加者は49名でした。

会 員 限 定

第204回定例研究会

フジテレビが拓くデジタルコンテンツの新世界

～通信と放送が融合する新時代 デジタル推進の方向性を探る～

講 師:株式会社フジテレビジョン
総合事業局コンテンツ事業室副部長
(兼デジタルデザイン部 兼広報局 兼報道局)
清水俊宏氏

第204回定例研究会(11月度)は、11月27日(水)、A P東京八重洲通りで開催しました。講師は(株)フジテレビジョン コンテンツ事業室 副部長 清水俊宏氏。テーマは「フジテレビが拓くデジタルコンテンツの新世界～通信と放送が融合する新時代 デジタル推進の方向性を探る～」。



PRSJ in Media

●11月30日（土）『月刊広報会議』1月号

『月刊広報会議』1月号における当協会の連載コラムで、当協会の『広報・マスコミハンドブック（PR手帳）2020』の発刊について掲載されました。

コラムでは、『今』を読み解く Keyword』をはじめ、「知っておきたい Fact Data」、「実務に役立つチェック＆フロー」、「PR・IR用語ミニ辞典」、「PR関連団体」、「主要メディア連絡先」など多様な掲載コンテンツについて、今回新たに掲載された項目とともに紹介されています。

また、本号が創刊40周年を迎えたことにも触れられています。

●12月9日（木）『CM通信』

『CM通信』12月9日号において、当協会の「PRアワードグランプリ2019」決定について1ページにわたり掲載されました。

記事では、「PRアワードグランプリ」の概要、審査体制にまず触れられ、各賞に15件のエントリー事例が選出され、あわせてグランプリに大阪府住宅供給公社の『茶山第団地』再生プロジェクト」が受賞されたことが紹介されています。

また、「未来を見据える」という審査コンセプトに触れた井口審査委員長による総評についても記載されています。

●12月20日（金）『企業と広告』

『企業と広告』1月号におけるコーナー「協会ニュース」において、当協会の「PRアワードグランプリ2019」の受賞エントリーが紹介されました。記事では、「グランプリ」には大阪府住宅供給公社の『茶山第団地』再生プロジェクト」が選ばれ、さらに「ゴールド」に選出された2つのエントリー事例について触れられています。

（事務局・真部）

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。
中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、
よろしくお願い致します。

広報委員会

Eメール mail@prsj.or.jp

F A X 03-5413-2147

※ 禁転載